

# 朝鮮半島の緊張をより高める 韓米連合軍事訓練の中止を求める 抗議要請書

アメリカ合衆国大統領 ドナルド・ジョン・トランプ 様  
駐日アメリカ合衆国臨時代理大使 ジョセフ・M・ヤング 様

8月18日から行われる韓米連合軍事訓練に強く抗議します。

この演習は、今年の3月に予定されていたものですが、新型コロナで延期されていました。米軍主導の韓米連合軍が持つ有事作戦統制権を韓国軍に移管するための検証が一つの目的とされ、朝鮮半島有事の米軍増援戦力展開と迅速配備能力点検などが行われるといわれています。しかし規模が縮小されているとはいえ、実際は対北先制攻撃、指揮部除去、斬首作戦などを主要な骨子にした極めて侵略的、先制攻撃的な軍事演習です。

これは、南北は地上・海上・空中で相手に対する敵対行為をしないと約束した南北首脳による4.27板門店宣言、9.19平壤共同宣言や、6.12朝米首脳会談後にトランプ米大統領が韓米連合軍事訓練中断を公約したことに全く反するものです。

この間自衛隊と米軍は、様々な形で共同訓練を展開しています。また8月17日からは米日韓が参加する多国間共同訓練「リムパック2020」が行われます。これらの共同訓練は、韓米連合軍事訓練と連動するもので、朝鮮半島の緊張をより一層高めるものです。

一方コロナの世界的大流行の中で最大の感染者がいる米国からやってくる在韓米軍関連の感染者が110名を超えたといわれています。韓米連合軍事訓練はコロナ感染の危険を増幅させるものです。

これは沖縄における状況と全く同じです。沖縄では感染が拡大し、在沖米軍の感染者だけで300名を超えました。日米地位協定により、日本側の検疫を受けずに自由に入国していたことが感染拡大の原因です。多数の感染者がでているキャンプハンセンと普天間基地は「ロックダウンする」といっているが、ゲートは封鎖されていません。このような状況から米軍基地が集中している沖縄では米軍基地がコロナ感染の大きな脅威になっています。

東アジアで米軍は一体的に運用されており、韓米連合軍事訓練によって沖縄、日本のコロナ感染の危険性は更に増加します。この点からも韓米合同軍事訓練は中止すべきです。

韓国では170余の団体が構成されている8.15民族自主大会推進委員会のよびかけにより全国3722団体が韓米合同軍事訓練中止を求める緊急時局宣言を発しました。私たちも韓国民衆と連帯し、韓米合同軍事訓練に強く反対し即時中止を求めます。

2020年8月17日

戦争法廃止・安倍たおせ！反戦実行委員会

連絡先：東京都港区西新橋1丁目21番8号 新虎ビル2階 090-6481-6713 (松平)